

### Ⅲ 特集：映画館(上映活動)の現状に関する 詳細調査2025

#### 兵庫県の2つの上映活動の詳細調査

1

##### 元町映画館

- (1) 元町映画館のレポート
- (2) レポートの分析

2

##### 兵庫県映画センター

- (1) 兵庫県映画センターのレポート
- (2) レポートの分析

## III | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査2025

## 兵庫県の上映活動の詳細調査

2025年の「映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査」では、兵庫県の映画館(ミニシアター)「元町映画館」と、兵庫県内の公共文化施設を中心に長年にわたり上映活動を続けている「兵庫県映画センター」という、2つの上映団体を調査した。

新しい映画振興策、取り分け、映画の「上映」の振興、支援策を考えるときに、その対象として第一に考えられるのは、長年にわたって映画文化の多様性を守り、世界各国の、また様々な時代の映画を体験させてくれる学びの空間である映画館「ミニシアター」である。本調査においても、各地域のミニシアターが具体的にどのような活動を展開しているのか、どれほど多様な作品を上映し、どのような教育的使命を担ったイベントを実践し、どのように地域のアクターとの連携に取り組んでいるのか、といった映画館が日々実践している上映活動を一望するデータによって、上映活動の「多様性」と「地域性」を計測すること、適切に評価する可能性を提示することを目指している。それはまた、ミニシアターが日常的に行う活動の公共的な意義を明らかにすることであり、公的な上映支援制度へとつながっていくものと考えている。

ミニシアターが映画文化の多様性を守る最も重要な存在であることは明らかであるが、“ミニシアター”という言葉は公共的な上映活動全般を象徴するような言葉でもある。実際には、映画館「以外」における上映活動によって地域の映画文化の多様性を守り、地域の人々の映画に対するアクセスを確保してきた団体も全国各地に数多く存在している。

今回の調査では、神戸市にある映画館(ミニシアター)「元町映画館」と、神戸市を拠点に兵庫県内全域で上映活動を行う「兵庫県映画センター」を調査対象として選定、このふたつの活動を詳細に見ることで、兵庫県の映画環境の一端を提示できるものと考えている。

Ⅲ | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査 2025

1

元町映画館

(1)元町映画館のレポート

**元町映画館**  
 映画館。1スクリーン(66席+車椅子席1席)  
 2009年開館。ウェブサイトには、「・・淀川長治氏が尊敬したチャップリンが来日した神戸港。そのシンボルであるポートタワーの勇姿を臨む元町商店街。この由緒ある地に、私たちは「映画芸術の存続と継承」、そして「地域の活性化」を目指し、その土地に密着した文化発信の場所として、映画文化を取り戻すべく、ミニシアター『元町映画館』を設立しようとするものです…」とある。  
 運営団体:一般社団法人 元町映画館 兵庫県神戸市中央区元町通4丁目1-12  
 神戸市人口 148万6038人  
 近隣の映画館(神戸市)  
 シネマコンプレックス:109シネマズHAT神戸、OSシネマズミント神戸、OSシネマズ神戸ハーバーランド  
 ミニシアター:シネリーブル神戸、キノシネマ神戸国際、シネマ神戸、パルシネマしんこうえん  
 既存興行館:カナートホール 成人映画館:福原国際東映  
 年間上映本数 日本映画=166本 外国映画=133本 合計299本

表1:上映作品(元町映画館)

日本映画

	上映作品名	若い作り手	劇映画/アニメ/ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
1	愛されなくても別に	※	劇映画	井樫彩	日本	
2	アイヌブリ		劇映画	福永壮志	日本	
3	愛の茶番		劇映画	江本純子	日本	
4	愛のぬくもり		劇映画	いまおかしんじ	日本	
5	朝がくるともなしくなる	※	劇映画	石橋夕帆	日本	
6	アジアのユニークな国		劇映画	山内ケンジ	日本	
7	雨ニモマケズ	※	劇映画	飯塚冬酒	日本	
8	いきもののきろく		劇映画	井上淳一	日本	
9	うおっしゅ	※	劇映画	岡崎育之介	日本	
10	~運送ドラゴン~パワード人間バトルクーリエ		劇映画	大東賢	日本	
11	オーガスト・マイ・ヘヴン	※	劇映画	工藤梨穂	日本	
12	オーファンズ・ブルース	※	劇映画	工藤梨穂	日本	
13	思い立っても凶日	※	劇映画	野本梢	日本	
14	折にふれて	※	劇映画	村田陽奈	日本	
15	解放	※	劇映画	芋生悠	日本	
16	カフネ	※	劇映画	杵村春希	日本	
17	噛む家族	※	劇映画	馬淵ありさ	日本	
18	還暦高校生	※	劇映画	河崎実	日本	
19	嬉々な生活	※	劇映画	谷口慈彦	日本	
20	北浦兄弟	※	劇映画	辻野正樹	日本	
21	きょう、映画館に行かない?	※	劇映画	オムニバス	日本	
22	「桐島です」		劇映画	高橋伴明	日本	
23	くまをまつ		劇映画	滝野弘仁	日本	
24	狂い咲きサンダーロード		劇映画	石井聰互	日本	
25	神戸 ~都市が囁く夢~		劇映画	衣笠竜屯	日本	
26	こんな事があった		劇映画	松井良彦	日本	
27	サイボーグー心太助		劇映画	河崎実	日本	
28	左様なら	※	劇映画	石橋夕帆	日本	
29	サラバ、さらんへ、サラバ	※	劇映画	洪先恵	日本	
30	次元を超える		劇映画	豊田利晃	日本	
31	事実無根		劇映画	柳裕章	日本	
32	自由なファンシィ		劇映画	筒井武文	日本	
33	消滅世界	※	劇映画	川村誠	日本	
34	初級演技レッスン		劇映画	串田壮史	日本	
35	新宿泥棒日記		劇映画	大島渚	日本	

	上映作品名	若い 作り手	劇映画 / アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名 / 備考
36	SUPER HAPPY FOREVER	※	劇映画	五十嵐耕平	日本	
37	素敵すぎて素敵すぎて素敵すぎる	※	劇映画	大河原恵	日本、韓国	
38	スノードロップ		劇映画	吉田浩太	日本	
39	石門	※	劇映画	ホアン・ジー / 大塚竜治	日本	
40	そういうものに、わたしはなりたいたい。		劇映画	豊田利晃	日本	
41	爽子の衝動		劇映画	戸田彬弘	日本	
42	そこにきみはいて	※	劇映画	竹馬靖具	日本	
43	そして、アイヌ		劇映画	大宮浩一	日本	
44	太陽がしよっばい	※	劇映画	西川達郎	日本	
45	種まく旅人 醜のささやき		劇映画	篠原哲雄	日本	
46	天使の集まる島	※	劇映画	堀井綾香	日本	
47	逃走		劇映画	足立正生	日本	
48	ナマズのいた夏		劇映画	中川実矢	日本	
49	花束	※	劇映画	サヘル・ローズ	日本	
50	晴れの国		劇映画	大森青児	日本	
51	光る川		劇映画	金子雅和	日本	
52	フィクション	※	劇映画	酒井善三	日本	
53	冬物語	※	劇映画	奥野俊作	日本	
54	フレームユニオン 最強殺し屋伝説国岡 私闘編		劇映画	阪元裕吾	日本	
55	僕のなかのブラウニー	※	劇映画	相馬雄太	日本	
56	星より静かに		劇映画	君塚匠	日本	
57	松島トモ子 サメ遊戯		劇映画	河崎実	日本	
58	まつばだか	※	劇映画	安染涼 / 片山享	日本	
59	真夏の果実		劇映画	いまおかしんじ	日本	
60	水の中で深呼吸	※	劇映画	安井祥二	日本	
61	道草キッチン		劇映画	白羽弥仁	日本	
62	港に灯がともる		劇映画	安達もじり	日本	
63	悠優の君へ	※	劇映画	福原野乃花	日本	
64	ユリシーズ	※	劇映画	宇和川輝	日本、スペイン	
65	夜のまにまに	※	劇映画	磯部鉄平	日本	
66	ら・かんばねら		劇映画	鈴木一美	日本	
67	蘭島行		劇映画	鎌田義孝	日本	
68	Retake リテイク	※	劇映画	中野晃太	日本	
69	ROPE	※	劇映画	八木侖音	日本	
70	惑星ラブソング		劇映画	時川英之	日本	
71	わたしの頭はいつもうるさい	※	劇映画	宮森玲実	日本	
72	わたしの居場所	※	劇映画	濱嶋仁美	日本	
73	わたのはらぞこ	※	劇映画	加藤紗希	日本	
74	Underground アンダーグラウンド	※	ドキュメンタリー	小田香	日本	
75	いもうとの時間		ドキュメンタリー	鎌田麗香	日本	
76	うしろから撮るな 俳優織本順吉の人生		ドキュメンタリー	中村結美	日本	
77	ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう		ドキュメンタリー	平良いづみ	日本	
78	近江ミッション 願いと 折りと 喜びと		ドキュメンタリー	溝淵雅幸	日本	
79	風たちの学校		ドキュメンタリー	田中健太	日本	
80	風に立つ愛子さん		ドキュメンタリー	藤川佳三	日本	
81	壁の外側と内側 ハレスチナ・イスラエル取材記		ドキュメンタリー	川上泰徳	日本	
82	関西7局 震災ドキュメンタリー 特別上映会		ドキュメンタリー		日本	
83	黒川の女たち		ドキュメンタリー	松原文枝	日本	
84	劇場が終わるとき		ドキュメンタリー	真喜屋力	日本	
85	声よ集まれ		ドキュメンタリー	朴英二	日本、韓国	
86	シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録		ドキュメンタリー	大島新	日本	
87	市街戦のジャズメン 作家 佐藤泰志の衝撃		ドキュメンタリー	稲塚秀孝	日本	
88	鹿の国		ドキュメンタリー	弘理子	日本	
89	ジュンについて		ドキュメンタリー	田野隆太郎	日本	
90	選挙と謬	※	ドキュメンタリー	青柳拓	日本	
91	それでも私は Though I'm His Daughter		ドキュメンタリー	長塚洋	日本	
92	太陽(ティダ)の運命		ドキュメンタリー	佐古忠彦	日本	
93	どうすればよかったか?	※	ドキュメンタリー	藤野智明	日本	
94	新渡戸の夢 ~学ぶことは生きる証~		ドキュメンタリー	野澤和之	日本	
95	能登デモクラシー		ドキュメンタリー	五百旗頭幸男	日本	
96	ハッピー☆エンド		ドキュメンタリー	オオタヴィン	日本	
97	バルバティ・パウル 黄金の河を渡って		ドキュメンタリー	阿部櫻子	日本	
98	パレンと小刀 時代をつなぐ浮世絵物語		ドキュメンタリー	松本貴子	日本	
99	104歳、哲代さんのひとり暮らし		ドキュメンタリー	山本和宏	日本	
100	風琴 ~あるリードオルガン修復家のあしあと~		ドキュメンタリー	黒瀬政男	日本	
101	満天の星		ドキュメンタリー	葦澤恒	日本	
102	揺さぶられる正義		ドキュメンタリー	上田大輔	日本	

	上映作品名	若い 作り手	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
103	よみがえる声		ドキュメンタリー	朴壽南/朴麻衣	日本、韓国	
104	レッド・バージ 今に続く 負の遺産		ドキュメンタリー	鶴見昌彦	日本	
105	海がきこえる		アニメーション	望月智充	日本	
106	無名の人生	※	アニメーション	鈴木竜也	日本	
107	はだしのゲンはまだ怒っている		ドキュメンタリー	込山正徳	日本	「本×映画×人間」
108	オキナワより愛を込めて		ドキュメンタリー	砂入博史	日本	「劇場が終わるとき」公開記念 1日限定上映&トーク
109	時代革命		ドキュメンタリー	佐藤充則/平野愛	日本	「香港時代革命」上映
110	最強殺し屋伝説国岡 [完全版]		劇映画	阪元裕吾	日本	「最強殺し屋伝説 国岡 [私闘編]」 公開記念
111	グリーンパレット		劇映画	阪元裕吾	日本	
112	孤独な惑星		劇映画	筒井武文	日本	「自由なファンシイ」公開記念
113	東京オリンピック2017 都営霞ヶ丘アパート		ドキュメンタリー	青山真也	日本	1日限定上映&トーク【モノの「保存/解体」 と、そのあいだで「残ったもの」を考える】
114	春をかざねて	※	劇映画	佐藤そのみ	日本	元町映画館オーファンダイアログ #06
115	あなたの瞳に話せたら	※	ドキュメンタリー	佐藤そのみ	日本	【震災を「わたしが」語ることについて】
116	蟻の兵隊		ドキュメンタリー	池谷薫	日本	戦後80年「蟻の兵隊」上映
117	帰ってきた あぶない刑事		劇映画	原廣利	日本	「BABEL LABEL 全国ミニシアター キャラバン IN 元町映画館」
118	青の帰り道		劇映画	藤井道人	日本	
119	朽ちないサクラ		劇映画	原廣利	日本	
120	映画 〇月〇日、区長になる女。		ドキュメンタリー	ベヤンスマキ	日本	「Woman's Film Week 2025」
121	鉢 ARAGANE		ドキュメンタリー	小田香	日本	「小田香特集2025」
122	セノーテ		ドキュメンタリー	小田香	日本	
123	ノイズが言うには		ドキュメンタリー	小田香	日本	
124	あの優しさへ		ドキュメンタリー	小田香	日本	
125	GAMA		ドキュメンタリー	小田香	日本	
126	Night Train		ドキュメンタリー	小田香	日本	
127	ニコトコ島	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」
128	コロ石	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
129	ほなね	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
130	金太と銀次	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
131	大力と三浦	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
132	大力と三浦3	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
133	ベイビーわるきゅーれ		劇映画	阪元裕吾	日本	「ベイビーわるきゅーれ」シリーズ3
134	ベイビーわるきゅーれ 2 ベイビー		劇映画	阪元裕吾	日本	作一挙上映
135	ベイビーわるきゅーれ ナイスデイズ		劇映画	阪元裕吾	日本	
136	飛べない天使	※	劇映画	堀井綾香	日本	Digout!
137	地獄のSE	※	劇映画	川上さわ	日本	#03:“表現”の無限の可能性
138	僕の月はきたない	※	劇映画	工藤沙	日本	
139	恋脳 Experiment	※	劇映画	岡田詩歌	日本	
140	ゼロ弾きのゴージュ		アニメーション	高畑勲	日本	夏休みの映画館 2025
141	バンダコバンダ		アニメーション	高畑勲	日本	
142	バンダコバンダ 雨ふりサーカスの巻		アニメーション	高畑勲	日本	
143	金髪の草原		劇映画	犬童一心	日本	元町映画館15周年記念
144	綿の国星		アニメーション	辻伸一	日本	「大島弓子に逢いたくて」
145	グーグーだって猫である		劇映画	犬童一心	日本	
146	Workcation		劇映画	神保慶政	日本	神保慶政監督特集
147	Originality		ドキュメンタリー	神保慶政	日本	「生活の中の映画」
148	憧れ		劇映画	神保慶政	日本	
149	せんそうはしらない		劇映画	神保慶政	日本	
150	0ライン 赤道の上で		劇映画	神保慶政	日本	
151	えんえんと、えんえんと		劇映画	神保慶政	日本	
152	僕はもうすぐ十一歳になる。		劇映画	神保慶政	日本	
153	偶然と想像		劇映画	濱口竜介	日本	濱口竜介監督特集上映
154	PASSION		劇映画	濱口竜介	日本	「映画と、からだと、あと何か」
155	親密さ		劇映画	濱口竜介	日本	
156	永遠に君を愛す		劇映画	濱口竜介	日本	
157	天国はまだ遠い		劇映画	濱口竜介	日本	
158	Walden		劇映画	濱口竜介	日本	
159	不気味なもの肌に触れる		劇映画	濱口竜介	日本	
160	何食わぬ顔		劇映画	濱口竜介	日本	
161	THE DEPTHS		劇映画	濱口竜介	日本	
162	なみのおと		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
163	なみのこえ 新地町		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
164	なみのこえ 気仙沼		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
165	うたうひと		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
166	ハッピーアワー		劇映画	濱口竜介	日本	

日本映画観客数 20,096

## 外国映画

	上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/
1	赤い糸 輪廻のひみつ	※	劇映画	ギデンズ・コー	台湾	
2	IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー		劇映画	レオス・カラックス	フランス	
3	ウリリは黒魔術の夢をみた	※	劇映画	ティミー・ハーン	フィリピン	
4	オルエットの方へ 4Kレストア版		劇映画	ジャック・ロジェ	フランス	
5	おんどのりの鳴く前に		劇映画	パウル・ネゴエスク	ルーマニア、ブルガリア	
6	籠の中の乙女 4Kレストア版		劇映画	ヨルゴス・ランティモス	ギリシャ	
7	季節はこのまま		劇映画	オリヴィエ・アサイヤス	フランス	
8	KIDDO キド		劇映画	ザラ・ドヴィンガー	オランダ	
9	九月と七月の姉妹		劇映画	アリアン・ラベド	アイルランド、イギリス、ドイツ	
10	クリスマス・イブ・イン・ミラース・ポイント		劇映画	タイラー・タオルミーナ	アメリカ	
11	狂ったリビドー	※	劇映画	ヤン・ヤーチュ	台湾	
12	黒い瞳 4K修復ロングバージョン		劇映画	ニキータ・ミナルコフ	イタリア	
13	来し方 行く末	※	劇映画	リウ・ジアイン	中国	
14	地獄でも大丈夫	※	劇映画	イム・オジョン	韓国	
15	娼生	※	劇映画	ブルース・チウ	台湾	
16	親友かよ	※	劇映画	アッター・ヘムワディー	タイ	
17	太陽の男たち	※	劇映画	タウフイーク・サーレフ	シリア	
18	卵と石	※	劇映画	ホアン・ジー	中国	
19	タンゴの後で		劇映画	ジュシカ・バルー	フランス	
20	蝶の渡り	※	劇映画	ナナ・ジョルジャゼ	ジョージア	
21	テイク・ミー・サムウェア・ナイス		劇映画	エナ・センディヤレヴィッチ	オランダ、ボスニア	
22	ドマーニ! 愛のことば		劇映画	パオラ・コルテレージ	イタリア	
23	冬冬(トントン)の夏休み	※	劇映画	ホウ・シャオシェン	台湾	
24	白夜(1971) 4K		劇映画	ロベール・ブレソン	フランス、イタリア	
25	フーリッシュ・バード	※	劇映画	ホアン・ジー/大塚竜治	中国	
26	舟に乗って逝く	※	劇映画	チェン・シャオユ	中国	
27	ブラックバード、ブラックベリー、私は私。	※	劇映画	エレネ・ナヴェリアニ	ジョージア、スイス	
28	ブルー・ジーンズ 2Kレストア		劇映画	ジャック・ロジェ	フランス	
29	伯林—大都会交響楽 (特集「SILENT FILM LIVE [シリーズ27]」)		劇映画	ヴァルター・ルトマン	ドイツ	
30	マルティネス		劇映画	ロレーナ・パディージャ	メキシコ	
31	マルホランド・ドライブ 4Kレストア版		劇映画	デヴィッド・リンチ	アメリカ	
32	MOON GARDEN ムーンガーデン		劇映画	ライアン・スティヴンス・ハリス	アメリカ	
33	メイデン		劇映画	グラハム・フォイ	カナダ	
34	盲山	※	劇映画	リー・ヤン	中国	
35	モルグ 屍体消失		劇映画	オーレ・ポールネダル	デンマーク	
36	モロカイ・バウンド		劇映画	アリカ・テンガン	アメリカ	
37	わたしは異邦人	※	劇映画	エミネ・ユルドゥルム	トルコ	
38	アニタ 反逆の女神		ドキュメンタリー	アレクシス・ブルーム/スヴェトラナ・ジル	アメリカ	
39	キノ・ライカ 小さな町の映画館		ドキュメンタリー	ヴェリコ・ヴィダク	フランス、フィンランド	
40	キムズビデオ		ドキュメンタリー	アシュレイ・セイビン/デイヴィッド・レッドモン	アメリカ	
41	原爆スパイ		ドキュメンタリー	スティヴ・ジェームズ	イギリス、アメリカ	
42	シナリオ		ドキュメンタリー	ジャンリュック・ゴダール	フランス、日本	
43	女性の休日		ドキュメンタリー	パメラ・ホーガン	アイスランド、アメリカ	
44	青春 帰	※	ドキュメンタリー	ワン・ピン	フランス、ルクセンブルク、オランダ	
45	青春 苦	※	ドキュメンタリー	ワン・ピン		
46	青春 春	※	ドキュメンタリー	ワン・ピン		
47	セルロイド・クローゼット デジタル・リマスター版		ドキュメンタリー	ロブ・エプスタイン/ジェフリー・フリードマン	アメリカ	
48	2040 地球再生のビジョン		ドキュメンタリー	デイモン・ガモ	オーストラリア	
49	ネタニヤフ調書 汚職と戦争	※	ドキュメンタリー	アレクシス・ブルーム	イスラエル、アメリカ	
50	灰となっても	※	ドキュメンタリー	アラン・ラウ	香港、イギリス、カナダ	
51	非常戒厳前夜	※	ドキュメンタリー	キム・ヨンジン	韓国	
52	マリリン・モンロー 私の愛しかた		ドキュメンタリー	イアン・エアーズ	フランス	
53	砂時計サナトリウム		アニメーション	ブラザーズ・クエイ	イギリス、ポーランド、ドイツ	
54	冬の旅		劇映画	アニエス・ヴァルダ	フランス	「Woman's Film Week 2025」
55	子猫をお願い	※	劇映画	チョン・ジェウン	韓国	
56	ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル1080、 コメルス河畔通り23番地		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー、フランス	
57	ミゼリコルディア		劇映画	アラン・ギロディ	フランス	「アラン・ギロディ監督特集」
58	ノーバディーズ・ヒーロー		劇映画	アラン・ギロディ	フランス	
59	湖の見知らぬ男		劇映画	アラン・ギロディ	フランス	
60	モーグル・モーグリ		劇映画	パッサム・ターリク	イギリス、アメリカ	「イスラーム映画祭10」
61	さよなら、ジュリア	※	劇映画	ムハンマド・コルドファーニー	スウェーデン、エジプト、ドイツ、フランス、サウジアラビア、スウェーデン	

	上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/
62	チュニスの切り裂き男	※	劇映画	カウサル・ビン・ハニーヤ	チュニジア、フランス、UAE、カナダ	「イスラーム映画祭10」
63	イチジクの樹の下で	※	劇映画	エリーゲ・セヒリー	チュニジア、フランス、スイス、ドイツ、カタル	
64	ラーナ、占領下の花嫁	※	劇映画	ハーニー・アブー・アスアド	パレスチナ、オランダ、UAE	
65	ギャベ	※	劇映画	モフセン・マフマルバフ	イラン、フランス	
66	怒れるシーラ	※	劇映画	アポリース・トラオレ	ブルキナファソ、セネガル、フランス、ドイツ	
67	母たちの村	※	劇映画	ウスマン・センベース	セネガル、ブルキナファソ、モロッコ、チュニジア、カメルーン、フランス	
68	シリンの結婚		劇映画	ヘルマ・サンダース＝ブラームス	西ドイツ	
69	ハリーマの道		劇映画	アルセン・アントン・オストイッチ	ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、スロベニア、ドイツ、セルビア	
70	カシミール 冬の裏側	※	劇映画	アーミル・バシール	インド、フランス、カタル	
71	神に誓って	※	劇映画	ショエーブ・マンズール	パキスタン	
72	苦悩のリスト	※	ドキュメンタリー	ハナ・マフマルバフ	イギリス、アフガニスタン、イラン	「ヴィジョン・オブ・マフマルバフ」
73	子どもたちはもう遊ばない	※	ドキュメンタリー	モフセン・マフマルバフ	イギリス、イスラエル、イラン	
74	動くな、死ね、甦れ!	※	劇映画	ヴィターリー・カネフスキー	ソビエト	「ヴィターリー・カネフスキー
75	ひとりて生きる	※	劇映画	ヴィターリー・カネフスキー	フランス、ロシア	トリロジー」
76	ぼくら、20世紀の子供たち		劇映画	ヴィターリー・カネフスキー	フランス	
77	セカンド・アクト		劇映画	カンタン・デュビユー	フランス	「カンタン・デュビユー特集」
78	ダリ!!!!!!		劇映画	カンタン・デュビユー	フランス	
79	ヤニック		劇映画	カンタン・デュビユー	フランス	
80	鳥の島の財宝		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	「チェコ・ファンタジー・ゼマン」
81	王様の耳はロバの耳		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
82	狂気のクロニクル		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
83	彗星に乗って		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
84	カレル・ゼマンと子供たち		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
85	シンドバッドの冒険		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
86	クラブート		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
87	クリスマスの夢		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
88	ホンジークとマジェンカ		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
89	ブロコウク氏 映画制作の巻		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
90	水玉の幻想		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
91	ヴァラエティ		劇映画	ベット・ゴードン	アメリカ	「ベット・ゴードン エンブティ
92	エンブティ・スーツケース		劇映画	ベット・ゴードン	アメリカ	ニューヨーク」
93	エニバティズ・ウーマン		劇映画	ベット・ゴードン	アメリカ	
94	血 4Kレストア版		劇映画	ペドロ・コスタ	ポルトガル	「ペドロ・コスタ はじまりの刻
95	溶岩の家 4Kレストア版		劇映画	ペドロ・コスタ	ポルトガル、フランス、ドイツ	1989-1997」
96	骨(1997) 4Kレストア版		劇映画	ペドロ・コスタ	ポルトガル、フランス、ドイツ	
97	ヴァンダの部屋		ドキュメンタリー	ペドロ・コスタ	ポルトガル、ドイツ、スイス	
98	コロツサル・ユース		劇映画	ペドロ・コスタ	ポルトガル、フランス、スイス	
99	蟲(2018)		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、スロバキア	「ヤン・シュヴァンクマイエル特集」
100	グンストカメラ		ドキュメンタリー	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、スロバキア	
101	錬金炉アタノール		ドキュメンタリー	ヤン・ダニエル/アダム・オリハ	スロバキア、チェコ	
102	アリス		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	スイス、西ドイツ、イギリス	
103	ファウスト		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、フランス、イギリス	
104	オテサーネク		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、イギリス	
105	サヴァイヴング ライフ		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ	
106	ファンタスティック・ブラネット		アニメーション	ルネ・ラルー	フランス	「ルネ・ラルー ファンタスティック・
107	時の支配者 4K修復版		アニメーション	ルネ・ラルー	フランス	コレクション」
108	ガンダーラ 4K修復版		アニメーション	ルネ・ラルー	フランス	
109	バガー・ドラマ		劇映画	ビート・バウムガルトナー	スイス	「第3回 ヘルヴェティカ・スイス映画祭」
110	ロツロツホ		ドキュメンタリー	マヤ・チュミ	スイス	
111	小さな逃避行		劇映画	イヴ・イェルサン	スイス	
112	ラ・パロマ		劇映画	ダニエル・シュミット	スイス	
113	マイ・スイート・ホーム		ドキュメンタリー	ハンス・ハルディマン	スイス	
114	要塞		ドキュメンタリー	フェルナン・メルガル	スイス	
115	男と女(1966)		劇映画	クロード・ルルーシュ	フランス	「男と女 ―クロニクルズ―」
116	男と女の詩		劇映画	クロード・ルルーシュ	フランス	
117	男と女 人生最良の日々		劇映画	クロード・ルルーシュ	フランス	
118	花嫁人形		劇映画	エルンスト・ルビッチ	ドイツ	SILENT FILM LIVE【シリーズ25】
119	スキナーの夜会服		劇映画	ウィリアム・A・サイター	アメリカ	

上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/
120		劇映画	チャールズ・チャップリン	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ25]
121		劇映画	ロスコー・アーバックル	アメリカ	
122		劇映画	ロスコー・アーバックル	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ26]
123	※	劇映画	セルゲイ・エイゼンシュテイン	ソ連	
124		劇映画	バスター・キートン/ドナルド・クリスプ	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ27]
125		劇映画	アルバート・パーカー	アメリカ	
126		劇映画	F・W・ムルナウ	ドイツ	SILENT FILM LIVE [シリーズ27]
127		劇映画	アルトゥール・ロビゾン	ドイツ	
128		劇映画	ルパート・ジュリアン	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ28]
129		劇映画	ウォーレス・ウォースリー	アメリカ	
130		劇映画	ウォーレス・ウォースリー	アメリカ	夏休みの映画館 2025
131		アニメーション	ジミー・T・ムラカミ	イギリス	
132		劇映画	フレッド・ニューメイヤー/サム・テイラー	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ28]
133		劇映画	D・W・グリフィス	アメリカ	
外国映画観客数			10,938		
観客数合計			31,034		

表2：特集上映 ※番号青地は元町映画館独自企画

開催日	特集タイトル	観客数
1	2024/12/28 ～2025/1/17 濱口竜介監督特集上映「映画と、からだ、あと何か」 上映作品：『何食わぬ顔 (long version)』『PASSION』『永遠に君を愛す』『THE DEPTHS』『親密さ』『なみのおと』『なみのこえ 新地町』『なみのこえ 気仙沼』『うたうひと』『不気味なもの肌に触れる』ほか 『ドライブ・マイ・カー』の米アカデミー賞受賞を機に濱口竜介監督の知名度が上がっており、前回の特集上映時の2倍弱の動員となった。一般と学生の若い世代が来場者の中心で、映画館にとっても濱口作品にとっても、新しい観客の獲得の機会となった。	720
2	2025/1/1～1/3 『ベイビーわるきゅーれ』シリーズ3作一挙上映 上映作品：『ベイビーわるきゅーれ』『ベイビーわるきゅーれ 2 ベイビー』『ベイビーわるきゅーれ ナイスデイズ』 お正月の三が日で新作を含む3作品を連続上映したことで、連日足を運んでくれた方も、一度観たもののこの機会にもう一度観ると言うファンも来場し、最新作はほぼ満席となった。全治的に若い客層で、新たな観客の獲得にもつながった。	117
3	2025/2/8～2/21 『ヴィジョン・オブ・マフマルバフ』 上映作品：『苦悩のリスト』『子どもたちはもう遊ばない』	154
4	2025/2/8～2/21 『ペット・ゴードン エンプティ ニューヨーク』 上映作品：『ヴァラエティ』『エンプティ・スーツケース』『エニバディズ・ウーマン』	155
5	2025/2/22～2/28 関西7局 震災ドキュメンタリー 特別上映会 上映作品：『阪神・淡路大震災 ドキュメンタリーで振り返る30年前と今 Episode3 菅原通3丁目の人々の場合』『あの日あの場所、あの人』『想いをたずねて～父子が歩んだ30年～』『おうち～神戸母子寮の2年5か月～』『時計の針～亡くした母へ～阪神・淡路大震災29年～』『未来は今～10years old,14years after～』ほか ゲスト：【毎日放送】【関西テレビ】【読売テレビ】【NHK大阪】【朝日放送テレビ】【テレビ大阪】【サンテレビ】各局プロデューサー、ディレクター等 阪神淡路大震災から30年という節目に、関西の民放6局とNHK大阪放送局が共同で震災の伝承と将来起こりうる災害に備えた連携をテーマにプロジェクトを実施。震災直後の作品から最新作まで、30年間の放送の中から厳選した作品を無料上映した。各局のつながりが可視化でき、震災経験者からその子・孫世代まで幅広く来場。震災を経験した地として意義のある企画だった。	304
6	2025/3/1～3/7 「チェコ・ファンタジー・ゼマン!」 上映作品：『鳥の島の財宝』『王様の耳はロバの耳』『狂気のクロニクル』『彗星に乗って』『カレル・ゼマンと子供たち』『シンドバッドの冒険』『クラバート』『クリスマスの夢』『ホンジークとマジェンカ』『プロコウ氏 映画製作の巻』『水玉の幻想』	138
7	2025/3/8～3/14 「Woman's Film Week 2025」 上映作品：『ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル1080、コメルス河畔通り23番地』『冬の旅(2K修復版)』『子猫をお願い4Kリマスター版』『映画 〇月〇日、区長になる女。』 ゲスト：ベヤンスマキさん(『映画 〇月〇日、区長になる女。』監督 ※リモート)、アルテシニアさん(作家)、かとうさおりさん(NINE STORIES主催)、奥村千織さん(1003店主) 国際女性デーに合わせて、さまざまな女性の生き方を映し出した作品を特集。ロードショー時には「女性映画」として捉えられていなかった作品も、フェミニズム的な視座を得た今観ることで、新たな面や魅力を発見できる機会となった。ゲストトークも好評。お客さまからの反応、反響も良かったので、毎年続けて実施していきたい。	164
8	2025/3/15～4/18 Digout! #03: “表現”の無限の可能性 上映作品：『飛べない天使』『地獄のSE』『僕の月はきたない』『恋脳 Experiment』 テーマごとに「いま、観てほしい」作品を連続公開するスタンプラリー企画。対象作品を有料鑑賞ごとに押し印し、3作品鑑賞でステッカー、4作品コンプリートでTシャツプレゼント。常連客を中心に、本企画があるからと+α本鑑賞してくれることで日本のインディーズ作品の動員を少しながらアップさせている。	230(4作品計)
9	2025/4/26～5/9 「アラン・ギロディ監督特集」 上映作品：『ミゼリコルディア』『ノーバディーズ・ヒーロー』『湖の見知らぬ男』 「アラン・ギロディ監督特集」公開記念トーク 2025/4/26 ストキンジェル・アルノーさん(神戸大学大学院国際文化学研究所・学術研究員) 2025/5/5 渋谷哲也さん(ドイツ映画研究者/日本大学文理学部教授)	218

開催日	特集タイトル	観客数
10	2025/5/3～5/9 「イスラーム映画祭10」 上映作品:『モーグル・モーグリ』『さよなら、ジュリア』『チユニスの切り裂き男』『イチジクの樹の下で』『ラナー、占領下の花嫁』『ギャベ』『怒れるシーラ』『母たちの村』『シリンの結婚』『ハリマの道』『カシミール 冬の裏側』『神に誓って』 「イスラーム映画祭10」公開記念トーク 2025/5/3 丸山大介さん(防衛大学校准教授) 2025/5/4 岡真理さん(早稲田大学文学部学術院 教授/アラブ文学者 ※リモート登壇) 2025/5/5 戸田真紀子さん(京都女子大学現代社会学部教授) 2025/5/6 渋谷哲也さん(ドイツ映画研究者/日本大学文理学部教授) 2025/5/7 拓哉さん(中央大学・政策文化総合研究所客員研究員) 2025/5/8 岩崎有一さん(ジャーナリスト/アジアプレス ※リモート登壇) 2025/5/9 故 麻田豊さん(ウルドゥー語学・文学/インド・イスラーム文化研究者)	899
11	2025/5/10～5/16 「小田香特集2025」 上映作品:『鯨 ARAGANE』『セノーテ』『ノイズが言うには』『あの優しさへ』『GAMA』『Night Train』	33
12	2025/6/7～6/9 「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」 上映作品:『ニコト島』『コロ石』『ほなね』『金太と銀次』『大力と三浦』『大力と三浦3』 小学生からの幼馴染で大阪在住の2人組映画監督、大力拓哉と三浦崇志。唯一無二の世界観で作品を生み出す彼らのDVD発売を記念した特集上映。集客はできなかったが毎日通って全プログラム鑑賞された方もいて、魅力の一端を伝えられたと思う。 「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」公開記念トーク 2025/6/7・6/8 大力拓哉さん(本作監督・出演)、三浦崇志さん(本作監督・出演)	6
13	2025/6/28～7/4 神保慶政監督特集「生活の中の映画」 上映作品:『Workation』『Originality』『憧れ』『せんそうはしらない』『0ライン-赤道の上で』『えんえんと、えんえんと』『僕はもうすぐ十一歳になる。』 ドキュメンタリーとフィクションを複雑に組み合わせる作品づくりを続ける神保慶政監督の全7作品を、「自分を生きる」「旅を生きる」「子どもを生きる」の3プログラムで構成した特集。 「生活の中の映画」公開記念 2025/6/28 トーク、クラフトビール試飲会 神保慶政さん(本作監督)、村上豪英さん(村上工務店代表) 2025/6/29 トーク、託児付き上映 神保慶政さん(本作監督)、藤田毅さん(リバーワークス社 緑化担当)	68
14	2025/7/5～7/11 「BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン IN 元町映画館」 上映作品:『帰ってきたあぶない刑事』『青の帰り道』『朽ちないサクラ』 2025年に設立15周年を迎えたコンテンツスタジオ BABEL LABEL が、1年を通してその原点である全国のミニシアター巡る「BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン」。元町映画館では7/5～11の1週間、劇場がセレクトした3作品を上映。 「BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン IN 元町映画館」スペシャルトーク 2025/7/6 原廣利(『帰ってきたあぶない刑事』『朽ちないサクラ』監督)、原隆仁(TV版「あぶない刑事」シリーズ監督)	89
15	2025/7/26～8/8 「ルネ・ラルー ファンタスティック・コレクション」 上映作品:『ファンタスティック・プラネット』『時の支配者 4K修復版』『ガンダーラ 4K修復版』	291
16	8/9-10, 8/23-24 夏休みの映画館 2025 全国各地のミニシアター/コミュニティシネマが共同で開催する夏休みの子ども(若年層)向けの上映企画。 2025/8/9 『風が吹くとき』感想シェア会 映画チャ部 神戸本部メンバー 2025/8/10 サイレント映画を活弁付きで楽しもう! 『猛進ロイド』『迷惑帽子』『What's カツベン』 大森くみこ(活動写真弁士)、鳥飼りょう(楽士) 2025/8/23 『パンダコバンダ』『パンダコバンダ 雨ふりサーカスの巻』+ワークワークショップ 2025/8/24 『ゼロ弾きのゴーシュ』+ミニコンサート 来住姫乃さん(チェロ)、宮田晴奈さん(ヴァイオリン)、宮田雅代さん(ピアノ)	123
17	2025/8/16～8/22 元町映画館15周年記念「大島弓子に逢いたくて」 上映作品:『金髪の草原』『綿の国星』『グーゲーだつて猫である』 世代、性別を超えて愛され続ける漫画家・大島弓子原作の映画を特集上映。旧来からのファンに加え、これを機に漫画も読んでみたいという若い層も興味を持って来場してくれた。 元町映画館15周年記念「大島弓子に逢いたくて」開催記念トーク 2025/8/16 増田のぞみさん(甲南女子大学文学部メディア表現学科教授、マンガ研究)	193
18	2025/8/23～9/5 「ヘドロ・コスタ はじまりの刻 1989-1997」 上映作品:『血 4Kレストア版』『溶岩の家 4Kレストア版』『骨 4Kレストア版』『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』	214
19	2025/10/4～10/17 「ヤン・シュヴァンクマイエル特集」 上映作品:『蟲』『クンストカメラ』『錬金師アタナール』『アリス』『ファウスト』『オテサーネク』『サヴァイヴング ライフ』	172
20	2025/11/8～11/21 「ヴィターリー・カネフスキー トリロジー」 上映作品:『動くな、死ぬ、甦れ!』『ひとりて生きる』『ぼくら、20世紀の子供たち』	155
21	2025/11/15～11/28 「カンタン・デビュー特集」 上映作品:『セカンド・アクト』『ダリ!!!!!!』『ヤニック』	61
22	2025/11/22～11/28 「第3回 ヘルヴェティカ・スイス映画祭」 上映作品:『バガー・ドラマ』『ロソッコ』『小さな逃避行』『ラ・パロマ』『マイ・スイート・ホーム』『要塞』 スイスで「GINMAKU 日本映画祭」を開催する松原美津紀さんが、現代のドキュメンタリーからクラシック作品まで計6本のスイス映画をセレクトして上映する企画。なかなか観る機会のないスイス映画を楽しんでもらえた。 「第3回 ヘルヴェティカ・スイス映画祭」公開記念トーク 2025/11/24 藤本高之さん(イスラーム映画祭主宰)、松原美津紀さん(ヘルヴェティカ・スイス映画祭代表)	272
23	2025/11/29～12/12 「男と女 ―クロニクルズ―」 上映作品:『男と女』『男と女の詩』『男と女 人生最良の日々』	142

特集上映の観客数 4,918

表3: 関連イベント: 公開記念ゲストトーク

1	2025/1/26	『地獄でも大丈夫』	金智英さん(神戸松蔭女子学院大学准教授)
2	2025/4/6	『トマーニ! 愛のことば』	宇田川妙子さん(国立民族学博物館名誉教授)
3	2025/4/12	『ウリリは黒魔術の夢を見た』	ティミー・ハーンさん(本作監督 ※リモート)、ヤマクニキョウコさん(フィリピン映画研究)
4	2025/5/17	『風たちの学校』	田中健太さん(本作監督)、清水ひとみさん(フリースタールS-BASE 代表)
5	2025/6/21	『親友かよ』	加藤るみさん(映画コメンテーター)
6	2025/6/29	『親友かよ』	中村紀彦さん(映像・映画理論研究者/アビチャップン・ウィアラセタケン研究)
7	2025/6/29	『モルグ 屍体消失』	TKC ARTWORKSさん(HELLPIT VIDEO 店主/イラストレーター)
8	2025/7/27	『劇場が終わるとき』公開記念 『オキナワより愛を込めて』 1日限定上映&トーク	真喜屋力さん(『劇場が終わるとき』監督)、砂入博史さん(『オキナワより愛を込めて』監督)
9	2025/8/23	『舟に乗って逝く』	濱田麻矢さん(神戸大学大学院人文学研究科教授)
10	2025/9/27	『赤い糸 輪廻のひみつ』	葉山友美さん(台湾映画社/本作配給)、小島あつ子さん(台湾映画同好会/本作配給)
11	2025/10/4	『非常戒厳前夜』	木村幹さん(神戸大学大学院国際協力研究科教授)
12	2025/10/5	『セルロイド・クローゼット』	ストキンジェル・アルノーさん(神戸大学大学院国際化学研究科・学術研究員)
13	2025/10/18	『壁の外側と内側』公開記念 『太陽の男たち』特別上映&トーク	藤本高之さん(イスラム映画祭主宰)
14	2025/10/25	『石門』公開記念トーク	濱田麻矢さん(神戸大学大学院人文学研究科教授)
15	2025/10/25	『女性の休日』 『モヤモヤを言葉にしてみる会』	中谷文美さん(関西学院大学社会学部教授)
16	2025/10/26	『女性の休日』	アルテイシアさん(作家)
17	2025/11/8	『シナリオ』	筒井武文さん(映画監督 ※リモート登壇)

表4: サイレント映画伴奏付上映「SILENT FILM LIVE」

楽士・鳥飼りょうさんのピアノ/生伴奏でサイレント映画を楽しむ企画。

	開催日	上映作品	観客数
1	2025/1/4 ~ 1/10	『花嫁人形』『スキナーの夜会服』『両夫婦』『デブくんの漂流』『ファッティキートンのおかしな肉屋』	124
2	2025/4/5 ~ 4/11	『戦艦ポチョムキン』『海底王キートン』『ダグラスの海賊』	118
3	2025/7/12 ~ 7/18	『最後の人』『戦(おのの)く影』『伯林 大都会交響楽』	80
4	2025/11/1 ~ 11/7	『オペラの怪人』『ノートルダムのせむし男』『天罰』	110
			<b>432</b>

表5: 特別企画・特別上映

	開催日	企画タイトル
1	2025/1/1 ~ 1/3	『シアトリカル』公開記念: 『新宿泥棒日記』特別上映 唐十郎を追悼した大島新の監督第1作『シアトリカル』17年ぶりの上映に合わせて、父である大島渚が唐十郎ほかを映した『新宿泥棒日記』を特別上映。名監督の作品を35mmフィルムで上映したことで、当時を知るシニアを中心に30 ~ 50代の映画ファンも訪れた。
2	2025/3/9	『東京オリンピック2017 都営霞ヶ丘アパート』1日限定上映&トーク 【モノの「保存/解体」と、そのあいだで「残ったもの」を考える】 上映作品: 『東京オリンピック2017 都営霞ヶ丘アパート』 ゲスト: 青山真也さん(本作監督)、高森順子さん(社会心理学者)、片田友樹さん(建築家) 神戸に移り住んで3年の片田さんが、川や山・海による見ええない区分けを感じたり、二項対立で語られる場面に遭遇した経験から、すぐそこにある他者を見つめる機会となればと企画。青山監督からは撮る/撮られるという関係について、高森さんからは被災者の手記を集める活動で出会った、書いたことと口に出すことが異なる被災者についてなど、コミュニティや関係のあり方を考えるヒントとなるエピソードが話された。
3	2025/8/2 ~ 8/8	戦後80年『蟻の兵隊』上映 ゲスト: 池谷薫さん(本作監督) 中国残留日本兵だった奥村和一を主人公に、加害と被害の両面から戦争に切り込んだドキュメンタリー『蟻の兵隊』を戦後80年の2025年に再上映。初日には池谷薫監督の舞台挨拶を行い、本作制作への思い、奥村さんと築いた“共犯関係”など圧倒されるエピソードを語っていただき、戦争をいま一度考える機会になった。
4	2025/9/13 ~ 9/19	『香港時代革命』緊急公開 元町映画館を拠点に池谷薫監督が主宰する「元町プロダクション」でご縁のあった佐藤充則さんの急逝を受け、パートナーの平野愛さんと共同監督した最後の作品を緊急公開。 『香港時代革命』公開記念トーク 2025/9/13 平野愛さん(本作プロデューサー)、池谷薫さん(映画監督) 2025/9/14 平野愛さん(本作プロデューサー)、阿古智子さん(社会学者/現代中国研究) 2025/9/17 平野愛さん(本作プロデューサー)、アリック・リーさん(レイディー・リパティエー香港代表)
5	2025/11/22	映画チア部10周年記念上映企画『折にふれて』 1日限定上映&シネマツリーリング 上映作品: 『折にふれて』 ゲスト: 村田陽奈さん(本作監督) 2015年に誕生した映画チア部が10周年を迎えたことを記念し、映画チア部神戸本部のメンバーによる10周年記念上映企画を開催。映画チア部京都支部OGである村田陽奈監督作品『折にふれて』を特別上映、村田監督の舞台挨拶を行った。同時に学生限定でミニシアターデビューを応援するイベント「シネマツリーリング」も実施し、「学生映画の作り方・卒業制作の話」をテーマに、監督と学生たちが映画について語り合う場も設置。また、本作にまつわる展示を中心に、映画チア部10年間の歩みを振り返る特別展示も開催した。
6	2025/12/27 ~ 12/30	『ハッピーアワー』上映 ゲスト: 濱口竜介さん(監督)、野原位さん(共同脚本)、北川喜雄さん(撮影)、田中幸恵さん(出演/あかり役)、菊池葉月さん(出演/核子役)、三原麻衣子さん(出演/美美役)、川村りらさん(出演/純役)、柴田修兵さん(出演/鶴飼役)、出村弘美さん(出演/日向子役)、坂庄基さん(出演/風間役)、久貝亜美さん(出演/淑恵役)、田辺泰信さん(出演/栗田役)、渋谷采郁さん(出演/袖月役)、福永祥子さん(出演/みつ役)、椎橋怜奈さん(出演/こずえ役)、川村知さん(出演/大紀役) 2015年のロードショー以来、毎年年末に実施している『ハッピーアワー』上映。例年同様、舞台挨拶のある年内最終営業日の12/30は満席となった。毎年多くのお客さまにお越しいただいているが、その度初鑑賞だという方も多くいる。濱口竜介監督、主役の4人の女性をはじめ総勢16名での舞台挨拶が大盛り上がりだった。

表6: 映画館外でのイベント

開催日	企画タイトル
1 2025/3/8	<b>元町映画館オープンダイアローグ #06</b> 【震災を『わたしが』語ることについて】
	実施会場: まちラボ
	上映作品: 『春をかきねて』『あなたの瞳に話せたら』 ゲスト: 佐藤そのみさん(本作監督)、 ファンリテーター: 中村紀彦さん(映像・映画理論研究者)
	映画を通して“開かれた対話の場”をつくりだすことを目指す企画で、東日本大震災を経験した佐藤そのみ監督の作品から、阪神淡路大震災を経験した神戸の地で震災を語ることをテーマに対話した。参加者それぞれの体験と抱えるモヤモヤを共有し、耳を傾ける意義のある場になった。
2 2025/5/17	<b>元町映画館オープンダイアローグ #07</b> 【映画『風たちの学校』から考える教育ってなんだ?】
	実施会場: まちラボ
	ゲスト: 田中健太さん(本作監督)、 ファンリテーター: 中村紀彦さん(映像・映画理論研究者)
	参加者どうしの対話を目的としたイベント。“学校”という言葉に持っている印象からスタートし、本作の舞台となった黄柳野高校での教育と、自身の学校での学びの経験とのギャップについてや「学校」という場所や、システムについてなど、参加者と語り合った。ご兄弟が黄柳野高校に通われていた方、お子さんがフリースクールに通われている方、教育分野が専門の大学の先生、中学校の教師など、ご自身の体験を交えた生の声も聞けた。
3 2025/7/12 ~ 7/31	<b>「本×映画×絆」</b>
	実施会場: 神戸市立兵庫図書館
	『KIDDO キドー』の公開を記念した神戸市立兵庫図書館との連携企画。「本×映画×絆」と題し、図書館スタッフが独自の視点で選書した書物を並べたコーナーを設置。展示書物は貸し出しも行った。
4 2025/8/16 ~ 8/24	<b>観読往来「大島弓子に逢いたくて」</b>
	実施会場: 書店「1003」
	元町映画館の上映作品をピックアップし、書店1003さんがその作品世界を豊かに広げる本たちを紹介する企画「観読往来」。今回は大島弓子のコミックスや関連書籍が並んだ特設コーナーを展開、多くの方に足を運んでいただいた。書店でコーナーを見て上映を知り、映画を観に来てくれた方もおり、相互に行き来して楽しんでもらった。
5 2025/9/6 ~ 9/23	<b>観読往来「九月と七月の姉妹」</b>
	実施会場: 書店「1003」
	原作のデージー・ジョンソンによる小説をはじめ、「Two Girls あなたとわたしの物語」をテーマに女性どうしの関係を描いた本たちが並んだ。
6 2025/10/25 ~ 11/9	<b>観読往来「女性の休日」</b>
	実施会場: 書店「1003」
	『女性の休日』を起点に、女性が働き、声を上げることについて書かれた本たちが並んだ。
7 2025/11/7 ~ 11/24	<b>『ジュンについて』公開記念・夏葉社フェア</b>
	実施会場: 書店「1003」「本の菜」
	“ひとり出版社”夏葉社の島田潤一郎さんを追ったドキュメンタリー『ジュンについて』公開を記念して、映画にも登場する神戸の独立書店「1003」「本の菜」にて夏葉社フェアを開催。本好きのお客さまが足を運んでくれた。
8 2025/11/15 ~ 12/5	<b>「本×映画×人間」</b>
	実施会場: 神戸市立兵庫図書館
	上映作品: 『はだしのゲンはまだ怒っている』
	『はだしのゲンはまだ怒っている』の公開を記念した神戸市立兵庫図書館との連携企画。「本×映画×人間」と題し、図書館スタッフが未来の平和を作ることができる「人間」への希望を込めた独自の視点で選書した書物を並べたコーナーを設置。展示書物は貸し出しも行った。

表7: タイアップ

開催日	企画タイトル
1 2025/2/8 ~ 2/21	<b>『ブラックバード、ブラックベリー、私は私。』</b>
	実施会場: Café Cru.
	元町映画館の真裏にある「Café Cru.」にて、『ブラックバード、ブラックベリー、私は私。』劇中に登場したジョージア式のナポレオンパイを上映期間中提供。映画を観た方にも、Café Cru.のスイーツのファンにも好評だった。
2 2025/3/8 ~ 3/21	<b>『蝶の渡り』</b>
	実施会場: Café Cru. / ジェロボアム
	ジョージア映画『蝶の渡り』公開に合わせ、近隣の2店舗とタイアップ企画を実施した。主となる客層が似ていたこともあってか利用客も普段より多く、相互のお客さまが往来する良い機会となった。各店での実施内容は以下の通り。 【Café Cru.】上映期間中、人気のジョージア料理シュケメルリと、ジョージア発祥のオレンジワインを他愛アップメニューとして提供。 【ジェロボアム】ジョージア含む世界各地の銘醸ワイン約1,000種がそろう路地裏のワインショップ。公開1ヶ月ほど前から店内に映画のポスター、チラシ、割引券(一般1,800円→1,300円)を設置してもらい、映画の観客にはワイン購入の割引券を配布(10%OFF)した。
3 2025/3/15 ~ 3/28	<b>『鹿の国』</b>
	実施会場: 鹿鳴茶流 入船/ハイカラブルバードジビエ精肉店/ハイカラブルバード神戸
	「ニホンジカまるごと1頭有効活用」のバイオニアとしてエシカルな取り組みを続ける地元企業メリケンヘッドフォーターズが運営する3店舗と、本作鑑賞の方は各店の人気商品を割引価格で購入できるタイアップを実施。内容は以下の通り。 【鹿鳴茶流 入船】兵庫県産鹿肉のカツレツ 1,500円→1,000円 【ハイカラブルバードジビエ精肉店】兵庫県産鹿もも肉の生ハム 972円→680円 【ハイカラブルバード神戸】兵庫県産野生鹿の革・角・骨を有効活用したグッズ 15%OFF
4 2025/7/26 ~ 8/7	<b>「ルネ・ラルー ファンタスティック・コレクション」</b>
	実施会場: Café Cru.
	『ファンタスティック・ブラネット』に登場するドラーク族をイメージしたビジュアルのソーダフロートを上映期間中提供。ビジュアルの良さから写真を撮ってSNS投稿してくださる方が多く、テイクアウトして映画を観ながら楽しむことも可能で、若い層を中心に楽しんでもらえた。
5 2025/9/6 ~ 9/18	<b>「季節はこのまま」</b>
	実施会場: Café Cru.
	『季節はこのまま』劇中で弟のエティエヌが毎日のように作っていたハムとチーズのクレープを、美味しいハムとチーズを使ってCafé Cru.でも上映期間中提供。軽い食事でもおやつでも楽しめるよう、コーヒータウンなどのドリンクとのセットも。
6 2025/9/13 ~ 9/25	<b>「オルエットの方へ 4Kレストア版」</b>
	実施会場: Café Cru.
	おなかを空かせた主人公の女の子たちに食べさせたい、カラフルなビジュアルが素敵なお菓子を上映期間中タイアップスイーツとして提供。テイクアウトも好評だった。
7 2025/10/ ~ 10/9	<b>「MOON GARDEN」</b>
	独特な作品世界と主人公・エマをイメージしたドリンク(アルコール入り/ノンアルコール)を期間中提供。鑑賞後に余韻の時間を楽しんでもらえた。
8 2025/10/18 ~ 10/24	<b>『壁の外側と内側』</b>
	上映期間中、パレスチナのしごとと雑貨を取り扱う「架け箸」の商品を販売。また、2Fロビーでパレスチナでの虐殺に反対するスタンディングを行なっている有志の神戸市民による展示を実施した。多くの来場者に商品を手にとってもらい、パレスチナへの思いを伝える場となった。
9 2025/12/13 ~ 12/30	<b>「道草キッチン」公開記念タイアップ</b> <b>「映画を観て、ベトナムごはんを楽しもう！」</b>
	『道草キッチン』公開を記念して、元町映画館と同じ元町商店街にあるベトナム料理店タン・カフェとタイアップ。店舗ではポスター掲示と割引券付きチラシの設置をしてもらい、映画を観た方が店舗を利用するとハス茶サービスという内容で実施した。

## (2)元町映画館 レポートの分析

元町映画館から提出された詳細な上映活動のデータから、元町映画館をどのように「評価」することができるだろう。神戸市内には、元町映画館を含め5館のミニシアター（その他に、シネコン3館、既存館1館）があり、元町映画館には、他のミニシアターと差異化するための、館独自のプログラミングが求められる。元町映画館の館独自のプログラミングとは具体的にはどのようなものなのか。レポートを参照しながら考えてみる。

### ■多様な映画を上映

2025年に公開された映画は1409本。これを公開された映画館の館数（公開規模）で分類したものが表8である。

「上映作品の多様性」の指標として、それほど大きな規模では公開されていない作品（10~99館で公開される中小規模の作品）が、館の上映作品全体に占める割合を設定する。日本映画の場合、10館~99館で公開される作品は334本で全公開作品の50%、外国映画では513本で70%を占めている。この中には、国際映画祭等で高い評価を得た作品や、世界的巨匠の作品、重要なドキュメンタリー映画、多くの若い作り手たちの野心的な作品、旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映や監督の特集上映などが含まれている。→表8

元町映画館は、1スクリーン（66席）で1年間に299本（日本映画166本、外国映画133本）もの作品を上映している。表1の上映作品リスト、表2-7の特集上映や関連イベントのデータを参照しながら、元町映画館の上映活動を分析してみよう。

#### 公開館数が10館以上100館未満の作品が上映作品全体に占める割合をポイント化

81%以上=50点 / 71~80%=45点 / 61~70%=40点 / 51~60%=35点 / 41~50%=30点 / 31~40%=25点 / 30%以下=20 とすると、元町映画館の上映作品の中で公開館数10~99館の作品は、日本映画では166本中81本49%、外国映画は133本中67本50%となっており、ポイントは日本映画、外国映画とも30点となっている。昨年調査をした「シネマテークたかさき」は日本映画、外国映画とも80%を越えており、満点の50点、「横浜シネマリン」は32.5点となった。同じミニシアターであっても、館が立地する地域の人口規模や周辺の映画館のあり方などによって、上映している作品には大きな違いがあることがわかる。元町映画館が立地する神戸市にはミニシアターが5館あり、それぞれ上映する作品は異なっている。公開館数が10~99館の作品の多くが「シネリーブル神戸」「キノシネマ神戸国際」で上映されている。元町映画館のプログラムは、周辺に複数のミニシアターが存在する横浜シネマリンの上映作品の構成に近いところもあるが、横浜シネマリンとは異なる強い個性を見ることができる。→表9

### ■上映作品の多様性をさらに深くみる

「公開規模」のみでは上映作品の細やかな豊かさを計測するには十分ではない。国内の映画上映の現状を鑑みて、加点すべきより具体的な指標として以下のことが考えられる。各々の映画館の特色や傾向をより詳細に読み解き、こうした評価を加えることで、多様性の評価はより妥当なものとなるだろう。

#### ・若手クリエイター作品の上映

若手クリエイターがそのキャリアをスタートし、経験を積み重ねる場としての映画館の役割を評価の指標とする。元町映画館の上映作品リストには、公開規模が小さい若手監督や新人監督の作品が非常に多く含まれている。日本映画では公開規模が「9館以下」の、インディペンデント映画の中でもかなり小規模な作品が166本中88本で50%以上を占めており、特集での上映作品を除く106本中42本が新しい作り手の作品である。「Digout! #03:“表現”の無限の可能性」ではインディペンデント映画のスタンプラリーを実施、「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」では、地域に関わりが深

表8：2025年に映画館で公開された作品の公開規模

日本映画				
公開館数	2025	シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	87	13%	79	8
150~299館	54	8%	36	18
100~149館	45	7%	26	19
70~99館	40	6%	19	21
50~69館	62	9%	17	41
30~49館	73	11%	25	37
10~29館	159	24%	18	42
2~9館	153	23%	14	15
公開本数合計1	673		234	201
			35%	30%
				35%
外国映画				
公開館数	2025	シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	29	4%	26	3
150~299館	28	4%	17	11
100~149館	36	12%	29	56
70~99館	51			
50~69館	90	12%	21	64
30~49館	147	20%	8	105
10~29館	225	31%	13	92
2~9館	130	18%	8	21
公開本数合計1	736		122	352
			17%	48%
				36%
日本映画1+外国映画1	1409		356	553
			25%	39%
				35%
本数				
日本映画10~99館	334	50%		
外国映画10~99館	513	70%		

表9：公開館数が10-99館の作品が上映作品全体に占める割合をポイント化

	元町映画館				シネマテークたかさき(2024年)				横浜シネマリン(2024年)			
	日本映画		外国映画		日本映画		外国映画		日本映画		外国映画	
300館以上	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
150~299	2	1%	0	0%	2	2%	0	0%	2	1%	0	0%
100~149	2	1%	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%	1	0%
80~99	3	2%	0	0%	1	1%	6	3%	1	1%	1	1%
50~79	11	7%	8	6%	21	22%	31	17%	8	6%	11	7%
30~49	15	9%	22	17%	20	21%	53	29%	10	7%	28	17%
10~29	44	27%	30	23%	36	37%	68	38%	22	16%	69	42%
7~9	8	5%	7	5%	5	5%	1	1%	12	9%	1	1%
6以下	80	48%	66	50%	11	11%	21	12%	83	60%	52	32%
	166		133		97		180		139		163	
10~99館	81	49%	67	50%	83	86%	159	88%	53	38%	110	67%
	30		30		50		50		25		40	
平均	30				50				32.5			

い作り手、関西を拠点とするクリエイターの作品を取り上げており、地域のクリエイターを育成する場としての役割を果たしているという点でも高く評価することができる。→表1

•ドキュメンタリー映画の上映

近年では、ドキュメンタリー映画が映画館で公開されことはさほど珍しいことではなくなったが、それでもシネマコンプレックスで上映されるのはごく一部の作品に限られている。上映の機会が稀少であること、そして描く対象やテーマによって、より直接的に私たちの社会や他者との関係を観客に伝え、考察する機会を与えるという点において、ドキュメンタリー映画の上映本数も重要な評価の指標のひとつとすることができる。元町映画館では、現代の日本社会の課題を提起するドキュメンタリー作品の新作が多く上映されており、日本映画の新作106本中33本、31%を占めている。→表1

•多様な製作国(籍)の映画を上映

日本の映画市場は、諸外国と比較をしてみた場合、ハリウッドに代表されるアメリカ映画へ極端に偏ることなく、様々な国の映画を上映している。近年、若年層の外国語離れ・外国文化への関心の低さを指摘する声もあるが、映画を通じて異文化に対する関心や交流の場を広げるという点で、アジア、アフリカ、中南米といった多様な国々で製作された映画の上映を加点すべき指標とする。元町映画館では、特集以外の外国映画53本の中で、欧米以外の国で製作された作品が22本42%を占めている。→表1

## ■多彩な特集上映や関連イベント

### ・特集上映

ある時代や地域を絞って複数の作品を上映することにより、観客は作品や特集の掲げるテーマをより深く理解し、描かれた文化や社会を学ぶことができる。映画監督をはじめとする映画の作り手にフォーカスした特集は、まとめて作品を鑑賞することによってそのスタイルや制作へ至った背景、映画の歴史そのものを観客が理解しやすいという点で教育的な側面をも有しており、映画の作り手の育成にもつながる。また、映画館の独自性や特色が強く打ち出されるという点においても上映活動の多様性を評価する指標となる。

元町映画館の場合、特集上映の多彩さは群を抜いている。日本映画・外国映画合わせると1年間に23もの特集上映が行われており、しかも9企画は元町映画館の独自企画である。(表2番号青地) 日本映画の166本中60本、外国映画では133本中80本が特集の中で上映されている。

日本映画の特集では、阪神淡路大震災から30年という節目の年に「関西7局 震災ドキュメンタリー 特別上映会」を開催(放送局と共同開催)、元町映画館15周年記念企画「大島弓子に逢いたくて」では漫画家・大島弓子原作の映画を上映、地域の書店では大島弓子の関連書籍の特設コーナーが設けられた。また、2013-14年に神戸に滞在してワークショップを行い、ワークショップ参加者とともに『ハッピーアワー』を撮った、元町映画館にとって特別な存在である濱口竜介監督の特集上映には多くの観客を集めている。映画として重要であるということに加え、地域性の強い、地域に根差した特集を数多く実施している。→表2

### ・関連イベント

映画上映における関連イベントとは、映画上映の本質的な目的である映画作品の鑑賞に加えて、その体験をより充実したものにするために企画されるものである。

関連イベントの評価の指標としては、大きく分けて二つを挙げることができる。

ひとつは映画を通じて観客が学ぶ、様々な経験をするという点で「教育的な意義」が挙げられる。ゲストによるトークやレクチャーは、観客の作品自体に対する理解だけでなく、作品の描く文化や社会についての関心を深める。若い観客(子ども)のための教育プログラムとして、上映に合わせて体験型のワークショップや映画の解説、トークイベントなどを実施することには教育的な意義とともに、社会的な意義も含まれる。また、ミニコンサートや公演付の上映は、音楽など他の芸術ジャンルに関心を持つ層に対しても裾野を広げ、日常的に映画館へ足を運ぶことの少ない観客層の開拓・育成に繋がる。

関連イベントには、「社会的な意義」も含まれる。それは、映画館が文化的な拠点として、地域社会のなかで様々な人々や団体との結節点となる役割を果たすことを示す。映画上映を通じて多様なテーマに関心をもつ人々が集まり言葉を交わすことによって、映画を契機としたコミュニティが醸成され、それが結果的に映画館に観客が根付くという循環にもつながっていく。

## 公開記念ゲストトーク

元町映画館では新作の公開時に多彩なゲストによるトークイベントを実施しており、2025年の公開記念ゲストトークは17回に及んでいる。元町映画館のゲストトークは、監督や上映作品の関係者の舞台挨拶にとどまるものではなく、当該の映画が扱うテーマや歴史的な背景等に関する専門家の短いレクチャーが多く行われており、近隣の大学の様々な分野の研究者が登壇する。ここにも元町映画館の「地域性」を強く感じることができる。→表3

## サイレント映画伴奏付上映「SILENT FILM LIVE」

関西を拠点に活動するサイレント映画伴奏者の鳥飼りょう氏のプログラミングによる「SILENT FILM

15周年記念企画「大島弓子に逢いたくて」チラシ



『ハッピーアワー』上映の日の記念撮影



## SILENT FILM LIVEチラシ



LIVE」は2018年に始まったもので、シリーズ企画として年4回行われている。元町映画館の定番企画として人気があり、毎回、多くの観客を集めている。→表4

### 地域の文化施設・文化芸術団体・商店街等との連携

元町映画館では、映画館「以外」での活動も積極的に行っている。地域の書店や図書館、まちづくり会館「まちらぼ」等と連携して様々な事業を展開している。

「元町映画館オープンダイアログ」は、「まちらぼ」を会場として、「・・・映画を通して開かれた対話の場をつくりだすことを目指し・・・」で行われる企画で、2025年には、石巻出身の佐藤そのみ監督の作品の上映に合わせて『【震災を『わたしが』語ることについて】、ドキュメンタリー映画『風たちの学校』上映時には【映画『風たちの学校』から考える教育ってなんだ?】を開催している。

映画(観賞)と本(読書)を結ぶ、神戸市立兵庫図書館との連携企画「本×映画×絆」や、書店「1003」が元町映画館の上映作品をピックアップして関連する本を紹介する「観読往来」などもたびたび実施し好評を得ている。

また、カフェやレストラン等との「タイアップ」も積極的に展開している。元町映画館の真裏にある「Café Cru.」では、元町映画館の上映作品に合わせて様々なメニューが考案され、ドキュメンタリー映画『鹿の国』上映の際には、「ニホンジカまるごと1頭有効活用」のパイオニアである地元企業「メリケンヘッドクォーターズ」が運営する3店舗で各店の人気商品を割引価格で購入できるタイアップを実施している。→表5~7

元町映画館の特徴は、とにかく「地域」の映画館であろうとしていること、地域との関わりを様々な面で創り出そうとしている点にある。この点は、他のミニシアターと比較しても突出した特性であると言える。イベントの数は(タイアップを除いて)80回以上に上り、ほぼ毎週末にイベントが行われている。回数が多いだけでなく、地域に関わりのある人たちを巻き込みながら、手間ひまをかけてつくられたイベントが多いのも元町映画館の特徴である。この「地域との関わり」も重要な評価のポイントとして考える必要がある。

Ⅲ | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査2025

2

兵庫県映画センター

(1) 兵庫県映画センターのレポート

兵庫県映画センター

上映団体。

「映画センター」とは、「..すぐれた映画を全国にくまなく上映していくことを目標」に活動する上映団体である。1960年代後半以降に全国各地につくられ、1972年には全国組織「全国映画センター連絡協議会」(現・一般社団法人全国映画センター)が設立されている。2026年1月現在、26の団体が全国映画センターのメンバーとして上映活動を行っている。各地の映画センターはそれぞれ立地する地域で、映画の配給や出張上映、自主上映を行っている。映画館「以外」で上映活動を行う団体として、その実績は高く評価されており、製作者、配給者からも厚い信頼を得ている。

兵庫県映画センターの歴史は古く、1969年の創業(1980年株式会社)以来、50年以上にわたり、兵庫県全域で上映活動を展開、兵庫県の映画文化の一翼を担い続けている。

株式会社兵庫県映画センター

〒653-0036 兵庫県神戸市長田区腕塚町2丁目1-15 クリエイト兵庫第一ビル2F

業務内容:映画配給(上映素材の貸出~自主上映) / 出張映写 / 映画・映像関連商品・映像機器の販売

表10: 上映作品(兵庫県映画センター)

日本映画 79作品

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
		新作(劇映画)			
1	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
2	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
3	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
4	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
5	2	悪は存在しない	濱口竜介	日本	BD
6	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
7	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
8	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
9	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
10	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
11	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
12	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
13	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
14	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
15	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
16	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
17	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
18	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
19	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
20	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
21	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
22	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
23	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
24	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
25	5	お母さんが一緒	橋口亮輔	日本	BD
26	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
27	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
28	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
29	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
30	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
31	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
32	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
33	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
34	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
35	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
36	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
37	7	オレンジ・ランプ	三原光尋	日本	BD
38	7	オレンジ・ランプ	三原光尋	日本	BD
39	7	オレンジ・ランプ	三原光尋	日本	BD
40	8	渇水	高橋正弥	日本	BD
41	9	カラオケ行こ!	山下敦弘	日本	BD
42	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
43	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
44	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
45	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
46	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
47	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
48	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
49	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
50	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
51	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
52	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
53	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
54	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
55	11	銀河鉄道の父	成島出	日本	BD
56	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
57	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
58	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
59	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
60	13	52ヘルツのクジラたち	成島出	日本	BD
61	14	ゴッドマザー コシノアヤコの生涯	曾根剛	日本	BD
62	14	ゴッドマザー コシノアヤコの生涯	曾根剛	日本	BD
63	15	こんにちは、母さん	山田洋次	日本	DCP
64	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
65	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
66	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
67	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
68	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
69	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
70	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
71	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
72	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
73	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
74	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
75	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
76	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
77	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
78	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
79	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
80	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
81	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
82	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
83	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
84	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
85	18	シサム	中尾浩之	日本	BD
86	19	ディア・ファミリー	月川翔	日本	DCP
87	20	とりつくしま	東かほり	日本	BD
88	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
89	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
90	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
91	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
92	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
93	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
94	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
95	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
96	23	八犬伝	曾利文彦	日本	BD
97	24	HAPPYEND	空音央	日米	DCP
98	24	福田村事件	森達也	日本	BD
99	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
100	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
101	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
102	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
103	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
104	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
105	27	マリッジカウンセラー	前田直樹	日本	BD
106	27	マリッジカウンセラー	前田直樹	日本	BD
107	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
108	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
109	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
110	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
111	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
112	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
113	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
114	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
115	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
116	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
117	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
118	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
119	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
120	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
121	30	ラーゲリより愛を込めて	瀬々敬久	日本	DCP
122	31	ラドンの奇跡	徳由美子	日本	BD
123	31	ラドンの奇跡	徳由美子	日本	BD
124	32	ルート29	森井勇佑	日本	BD
125	32	ルート29	森井勇佑	日本	BD
126	33	レディ加賀	雑賀俊朗	日本	BD
		<b>旧作・クラシック (劇映画)</b>			
127	34	あの日のオルガン	平松恵美子	日本	BD
128	34	あの日のオルガン	平松恵美子	日本	BD
129	35	あん	河瀬直美	日・仏・独	BD
130	35	あん	河瀬直美	日・仏・独	BD
131	36	異動辞令は音楽隊!	内田英治	日本	BD
132	37	いのちの停車場	成島出	日本	BD
133	37	いのちの停車場	成島出	日本	BD
134	38	上を向いて歩こう	舛田利雄	日本	BD
135	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
136	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
137	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
138	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
139	40	大コメ騒動	本木克英	日本	BD
140	41	お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方	香月秀之	日本	BD
141	41	お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方	香月秀之	日本	BD
142	41	お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方	香月秀之	日本	BD
143	42	学校の怪談	平山秀幸	日本	35mmフィルム
144	43	君の笑顔に会いたくて	植田中	日本	BD
145	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
146	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
147	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
148	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
149	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
150	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
151	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
152	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
153	45	細雪	市川崑	日本	35mmフィルム
154	46	島守の塔	五十嵐匠	日本	BD
155	46	島守の塔	五十嵐匠	日本	BD
156	47	島守の塔	五十嵐匠	日本	BD
157	47	しゃぼん玉	東伸児	日本	BD
158	48	純愛物語	今井正	日本	35mmフィルム
159	49	長いお別れ	中野量太	日本	BD
160	49	長いお別れ	中野量太	日本	BD
161	50	にごりえ	今井正	日本	35mmフィルム
162	51	破戒	前田和男	日本	BD
163	52	日は好日	大森立嗣	日本	BD
164	53	ペコロスの母に会いに行く	森崎東	日本	BD
165	53	ペコロスの母に会いに行く	森崎東	日本	BD
166	54	べっぴんの町	原隆仁	日本	35mmフィルム
167	55	夕風の街 桜の国	佐々部清	日本	BD

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
168	56	老後の資金がありません! ドキュメンタリー	前田哲	日本	BD
169	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
170	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
171	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
172	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
173	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
174	2	コミュニティムービー 30(さんまる)	鈴木七沖	日本	BD
175	3	地蔵とリビドー	笠谷圭見	日本	BD
176	4	ジュンについて	田野隆太郎	日本	BD
177	5	ちづる	赤崎正和	日本	BD
178	6	つつんで、ひらいて	広瀬奈々子	日本	BD
179	7	東京オリンピック	市川崑	日本	35mm フィルム
180	8	徘徊 ママリン87歳の夏	田中幸夫	日本	DVD
181	9	104歳、哲代さんのひとり暮らし	山本和宏	日本	BD
182	9	104歳、哲代さんのひとり暮らし	山本和宏	日本	BD
183	10	Buddhist -今を生きようとする人たち-	後藤サヤカ	日本	
184	11	ほげますから、よろしく願います。	信友直子	日本	BD
185	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
186	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
187	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
188	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
		<b>アニメーション</b>			
189	1	映画さんねんないきもの事典	ウチヤマユウジ イワタナオミ 由水桂	日本	BD
190	1	映画さんねんないきもの事典	ウチヤマユウジ イワタナオミ 由水桂	日本	BD
191	1	映画さんねんないきもの事典	ウチヤマユウジ イワタナオミ 由水桂	日本	BD
192	2	えっちゃんのせんそう	有原誠治	日本	DVD
193	2	えっちゃんのせんそう	有原誠治	日本	DVD
194	3	ガラスのうさぎ	橋祐典	日本	DVD
195	4	この世界の片隅に	片淵須直	日本	BD
196	5	セロ弾きのゴーシュ	高畑勲	日本	DVD
197	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
198	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
199	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
200	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
201	7	それいけ!アンパンマン ばいきんまんといぼんのルルン	川越淳	日本	BD
202	8	ちいさな英雄 カニとタマゴと透明人間		日本	BD
203	9	チヨツちゃん物語	ときたひろこ	日本	DVD
204	10	対馬丸~さようなら沖繩~	小林治	日本	DVD
205	11	屋根裏のラジャー	百瀬義行	日本	BD
206	11	屋根裏のラジャー	百瀬義行	日本	BD
207	11	屋根裏のラジャー	百瀬義行	日本	BD

## 79 作品

## 外国映画 53作品

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
		<b>新作(劇映画)</b>			
208	1	丘の上の本屋さん	クラウディオ・ロッシ・マッシ	イタリア	BD
209	2	オペラ座の怪人	ジュエル・シュマッカー	アメリカ	DCP
210	3	お坊さまと鉄砲	パオ・チョニン・ドルジ	ブータン・仏・米・台湾	BD
211	4	枯れ葉	アキ・カウリスマキ	フィンランド・ドイツ	BD
212	5	関心領域	ジョナサン・グレイザー	米・英・ポーランド	BD
213	6	コットンテール	パトリック・ディキンソン	イギリス・日本	BD
214	7	草原に抱かれて	チャオ・スーシュエ	中国	BD
215	8	ダンサー イン Paris	セドリック・クラビッシュ	フランス・ベルギー	BD
216	9	小さき妻の花	リー・ルイジュン	中国	BD
217	10	東京カウボーイ	マーク・マリョット	アメリカ	BD
218	11	ドリームホース	ユーロス・リン	イギリス	BD
219	12	バスト ライブス 再会	セリヌ・ゾン	アメリカ・韓国	BD
220	13	ぼくとパパ、約束の週末	マルク・ローテムント	ドイツ	BD
221	14	ボストン1947	カン・ジュギョ	韓国	BD
222	15	ボレロ 永遠の旋律	アンヌ・フォンテーヌ	フランス	BD
223	16	本日公休	フー・ティエンユウ	台湾	BD
224	16	本日公休	フー・ティエンユウ	台湾	BD
225	17	ミセス・クルナス vs. ジョージ・W・ブッシュ	アンドレアス・ドレーゼン	ドイツ・フランス	BD

作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
226	リトル・ダンサーリマスター版	S・ダリドルー	アメリカ	BD
	<b>旧作・クラシック</b> (劇映画)			
227	アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場	ギャビン・フッド	イギリス	DVD
228	愛のアルバム	ジョージ・スティーヴンス	アメリカ	DVD
229	愛のアルバム	ジョージ・スティーヴンス	アメリカ	DVD
230	裏窓	アルフレッド・ヒッチコック	アメリカ	DVD
231	裏窓	アルフレッド・ヒッチコック	アメリカ	DVD
232	麗しのサブリナ	ビリー・ワイルダー	アメリカ	DVD
233	オズの魔法使	ヴィクター・フレミング	アメリカ	BD
234	楽聖ショパン	チャールズ・ヴィダー	アメリカ	DVD
235	楽聖ショパン	チャールズ・ヴィダー	アメリカ	DVD
236	ガス燈	ジョージ・キューカー	アメリカ	BD
237	風と共に去りぬ	ヴィクター・フレミング	アメリカ	BD
238	禁じられた遊び	ルネ・クレマン	フランス	DVD
239	高慢と偏見	ロバート・Z・レオナード	アメリカ	DVD
240	高慢と偏見	ロバート・Z・レオナード	アメリカ	DVD
241	高慢と偏見	ロバート・Z・レオナード	アメリカ	DVD
242	コーダ あいのうた	シアン・ヘダー	アメリカ・フランス・カナダ	BD
243	ジョジョ・ラビット	タイカ・ワイティティ	アメリカ	DVD
244	花嫁の父	ビンセント・ミネリ	アメリカ	DVD
245	花嫁の父	ビンセント・ミネリ	アメリカ	DVD
246	巴里のアメリカ人	ヴィンセント・ミネリ	アメリカ	BD
247	バラードへようこそ	マシュー・ウォーチャス	イギリス	BD
248	別離	グレゴリー・ラトフ	アメリカ	DVD
249	別離	グレゴリー・ラトフ	アメリカ	DVD
250	マンマ・ミーア	フィリダ・ロイド	アメリカ	BD
251	ミセス・ハリス、パリへ行く	アンソニー・ファビアン	イギリス	BD
252	邂逅(めぐりあい)	レオ・マックリー	アメリカ	DVD
253	雪道	イ・ナジョン	韓国	BD
254	ル・コルビュジエとアイリーン 追憶のヴィラ	マリー・マクガキアン	ベルギー・アイルランド	BD
255	ロープ	アルフレッド・ヒッチコック	アメリカ	DVD
256	ワンダー 君は太陽	ステイブ・ン・チョボウスキー	アメリカ	BD
	<b>ドキュメンタリー</b>			
257	83歳のやさしいスパイ	マイテ・アルベルディ	チリ・米・独・蘭・西	BD
258	燃えあがる女性記者たち	リントウ・トーマス、スシュミト・ゴージュ	インド	BD
	<b>アニメーション</b>			
259	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
260	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
261	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
262	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
263	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
264	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
265	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
266	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
267	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
268	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
269	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
270	野生の島のロズ	クリス・サンダース	アメリカ	BD
271	野生の島のロズ	クリス・サンダース	アメリカ	BD
272	私ときどきレッサーバンダ	ドミー・シー	アメリカ	DVD
273	インサイド・ヘッド		アメリカ	BD
274	映画 ひつじのショーン UFOフィーバー!	リチャード・フェラン、ウィル・ベッカー	イギリス・フランス	BD
275	おさるのジョージ		アメリカ	BD
276	トムとジェリー ジャックと豆の木	スパイク・ブランド トニー・セルボーン	アメリカ	DVD
277	ベット2	クリス・ルノ	アメリカ	BD
278	リトル・ニモ	渡辺正美、ウィリアム・T・ハーツ	アメリカ・日本	DVD

## (2)兵庫県映画センター レポートの分析

### ■兵庫県全域36の市町村で上映会を開催

兵庫県映画センターは神戸市内にあるが、その活動は兵庫県全域に広がっている。

人口152万人の県庁所在地・神戸市をはじめ、姫路市、尼崎市、西宮市といった比較的人口規模の大きな市町村がある県南部の瀬戸内海沿岸部はもとより、中国山地の山間部の養父市や神河町、多可町、京都に接する丹波市や丹波篠山市、日本海に面する香美町や豊岡市、また淡路島の洲本市でも、兵庫県映画センターは県内の36の市町村で上映会を開催している。そのうち20の市町村は人口規模が5万人に満たない、最も近い映画館まで2時間近くかかるような町や村であり、兵庫県映画センターの活動は、映画館がない地域において大きなスクリーンで映画をみる貴重な機会を提供している。

1年間の上映会の回数は約300回に及んでおり、5万人以下の市町村で70回を超える上映会を行っている。

### ■大作からドキュメンタリー、クラシックまで～多彩な上映作品

兵庫県映画センターが2025年に上映した映画は、日本映画79作品、外国映画53作品で、計132作品にのぼる。→表10

一般社団法人全国映画センターが「非劇場上映の窓口となっている作品」(非劇場上映・自主上映に対する配給を行っている作品)が多数あり、これらの作品の兵庫県での上映は兵庫県映画センターが担当

#### お薦め作品リスト

# 2026 CINEMA SELECTION

学校や地域、啓発事業や各種イベントに映画会を！  
最新お薦め作品リスト









2026年度最新のお薦め映画作品をご案内いたします！  
総合リストに掲載している作品と併せてご参照ください。

- ◎上映形態・規模・地域によって、費用や配給開始時期が異なりますので、上映をご検討される場合、まず下記へ問い合わせください。
- ◎日本語字幕付き、日本語吹き替えがご用意できる作品もあります。
- ◎リストにない作品についても、お気軽にお問い合わせください。

## 兵庫県映画センター

TEL : 078-754-5503 FAX : 078-754-5507 MAIL : hyogoco@biglobe.jp  
〒653-0036 神戸市長田区院塚町2丁目1-15 クリエイト兵庫第1ビル2F

 <p><b>てっぺんの向こうにあなたがいる</b> 監督：阪本順治 出演：吉永小百合 佐藤浩市 130分</p>	 <p><b>TOKYOタクシー</b> 監督：山田洋次 出演：倍賞千恵子 木村拓哉 103分</p>
 <p><b>フロントライン</b> 監督：関根光才 出演：小栗旬 松坂桃李 129分</p>	 <p><b>ら・かんぱねら</b> 監督：鈴木一美 出演：伊原剛志 南果歩 118分</p>
 <p><b>長崎 閃光の影</b> 監督：松本准平 出演：菊池日菜子 小野花梨 川床明日香 109分</p>	 <p><b>木の上の軍隊</b> 監督：平一敏 出演：境真一 山田裕貴 128分</p>

<p>おいてはおコゲン！ 哲代さんの、 心も体もさびない生き方 山あいの町で100歳を超えてひとり暮らしを続けている石井哲代さん。83歳で夫を見送ってから、姪や近所の人たちと助けあい、美しいながら過ごしています。なんでも美味しく、誰とも楽しく、いつだってご機嫌に。そんな哲代さんの101歳から104歳までの日々を見つめたドキュメンタリーです。</p> <p><b>104歳、哲代さんのひとり暮らし</b> 監督：山本和宏 ドキュメンタリー 94分</p>	<p>観ればきっと、 明日が楽しくなる。 真一と千賀子の長女・亜矢がついに涼太と結婚。しかし式の直前、亜矢の何気ない一言が二人の関係を亀裂を生み、両家を巻き込む大騒動へと発展する。一方、真一の後輩・加藤は、母の認知症が受け入れられず、つい強い言葉で接してしまふ。そんな加藤に千賀子は「認知症でも心は忘れてない」と語りかける…。</p> <p><b>お終活3 幸春！メモリーズ</b> 監督：香月秀之 出演：横川功 高畑淳子 115分</p>
<p>争族にむかひのための、 相続のススメ！ 母親が亡くなり悲しみに暮れる鈴木家の人びと、やがて遺産をめぐるトラブル発生。実家を処分して売却のお金も分配しようとする長女と次女、跡継ぎを理由に土地家屋は自分たちのもの主張する弟夫婦、さらに亡き長男の未亡人も加わり争いが激化した。家族関係がこじれていく。</p> <p><b>ソーゾク</b> 監督：藤村廉実也 出演：大塚寧々 中山忍 97分</p>	<p>家族って、預かって厄介で、 それでもやっぱりいじおもしろい！ 親孝行のつもりで母親を温泉旅行に連れてきた三姉妹。互いにコンプレックスを持つ長女と次女、ふたりを機嫌よく見て「母親みたいな人生を送りたくない」といふ思い、温泉宿で繰り出される母親への悪戯は徐々にエスカレートし、お互いを罵倒する修羅場へと発展。そこに三女がサプライズで用意していた恋人が現れて…。</p> <p><b>お母さんが一緒</b> 監督：横口亮輔 出演：江口のりこ 内田滋 古川琴音 106分</p>
<p>その手紙は、 精一杯の愛でした。 過酷な幼少時代を過ごしてきたゆえに読み書きができていない大人になってしまった主人公・西郷保と保を支え続けた妻・敬子。寄り添うように生きてきたふたり、定年退職を機に保は決意する。最愛の妻にこれまでの感謝の気持ちを込めた「ラブレター」を書くことを、60歳を超えた保の長い奮闘の日々が始まった。</p> <p><b>35年目のラブレター</b> 監督：塚本達平 出演：笑福亭鶴瓶 原田知世 120分</p>	<p>コシノ三姉妹の母・コシノアヤコの 猛烈な人生の審判が始まる！ 危篤になったアヤコは、病院に搬送される。三姉妹が駆けつける中、天国行きか地獄行きかの審判がくだされる場所へ案内する天使がアヤコの前にも現れる。洋装店の開業、戦病死で夫を失ったアヤコが知る切実な切実の歌、74歳で立ち上げたブランドなど、ミシンに魅せられ飛び込んだファッションの世界で生きてきた人生をアヤコは振り返っていた。</p> <p><b>ゴッドマザー コシノアヤコの生涯</b> 監督：曾根剛 出演：大地真央 117分</p>

<p>小さな約束が、 みんなの希望に育っていく 岡山県倉敷市。「今度ここで打ち上げ花火を見せちゃる」高校生が、自閉症の青年と夢をあきらめかけている同級生を助まそうとして口から飛び出した約束。それが街に思いがけない波紋を呼び起こす！笑われてもくじけそうになってもひたむきに突き進む高校生たちの強い願いは、やがて大人たちを巻き込み、大きな希望になっていく。</p> <p><b>蔵のある街</b> 監督：平松恵美子 出演：山時聡真 中島瑞葉 103分</p>	<p>彼の夢をまともに歩んだ道のみ、 それだけのドクマ、 2013年ドラフト2位指名で阪神タイガースに入団した横田慎太郎。持ち前の負けん気と誰からも愛される人間性で成長を遂げていく。順風満帆な野球人生が待っていると信じられたその矢先、体に異変が起る。ボールが二重に見えるのだ。医師による診断結果は21歳の若者には残酷すぎる「脳腫瘍」。その日から病との過酷な闘いの日々が始まった。</p> <p><b>栄光のバックホーム</b> 監督：秋山純 出演：松谷廣也 鈴木京香 135分</p>
<p>あの日、何があったのか 事実と理由が知りたい 2011年3月11日、東日本大震災で宮城県石巻市の大川小学校は津波にのまれ、74人の児童と10人の教職員が亡くなった。なぜ大川小学校だけが…、事実と理由を知りたい。親たちの切なる願いは、やがて裁判へと進んでいく。5年にわたる裁判を含め親たちが繰り返した、のべ10年の闘いの記録を寺田監督が構成・編集し、追加撮影も行った。</p> <p><b>生きる 大川小学校 津波裁判を闘った人たち</b> 監督：寺田和弘 ドキュメンタリー 124分</p>	<p>3人の夜、3つの子供部屋、 10日間、2458人のオオカミたち 映画スタジオに作成された子供部屋に集められた少女のような外見をした3人の成人女優たち。彼女たちはソーシャルメディアでの未成年の性被害についての研究のため、ネットワーク上で12歳の架空の少女を演じるために集められた。心理学者や社会学者の見守る中、実験は開始される。児童への性的搾取の実態を描いたドキュメンタリー。</p> <p><b>SNS 少女たちの10日間</b> 2020年テレビ 104分 (R-15) エドゥケーショナルバージョン66分 (R-12) 字幕</p>
<p>無人島に漂着した最新型アシストロボットのロスは、キツネのチャックリとオッサムのペンクシッポの協力のもと、種々のひな鳥キラリを育てるうちに心が芽生えはじめる。ロスの優しさに触れ、怪物として彼女を拒絶していた動物たちも次第に島の「家族」として受け入れていく。いつしか島はロスにとっての「家」となっていくのだった。</p> <p><b>野生の島のロス</b> 声の出演：綾瀬はるか 柄本祐 鈴木福 102分</p>	<p>パティントンから放逐ペルーへ パティントンの育ての親・ルーシーおばさんの元気がないという知らせに、パティントンとブラウン一家がパティントンとペルーに行くこと、おばさんは失踪していた。行くと、ルーシーは一度、彼女を探し冒険へと変わる。だが、都会暮らしに慣れていたパティントンは次々とピンチに遭遇。果たしてルーシーおばさんを見つることができるのか？</p> <p><b>パティントン 消えた黄金郷の秘密</b> 声の出演：松坂桃李 古田新太 吉田羊 斎藤工 107分</p>

している。

兵庫県映画センターは、多くの場合、県内各地の公共施設や自治体の文化担当部署、学校等から委託を受けて上映会を実施している。委託の主体である上映会主催者と話し合せて上映作品を決めることになるが、その際に用いられるのが、兵庫県映画センターがつくっている「お薦め作品リスト」である。このリストには、「人権-命の尊厳-障害-差別-」「人権-LGBT-女性-」「SDGs・食・原発」「高齢化社会を豊かに生きる」「戦争と平和」「映画が映す様々な日本の姿」「感動を分かち合う」「子どもたちと楽しいひとときを」というテーマ別に多彩な作品が掲載されている。上映会主催者は、このリストから上映会の目的や主たる対象に合わせて作品を選ぶことができる。

2025年に最も多く上映されたのは、2024年に公開された『あまろっく』(中村和宏監督)で、13会場で上映されている。これは尼崎を舞台にしたホームコメディで、「ご当地映画」といってもよい作品であり、兵庫県映画センターとしても「推したい」作品であったようで、自主事業としても県内各地で上映している。

『九十歳。何がめでたい』(2024)も13会場で上映されている。『お終活 再春!人生ラプソディ』(2024)、『お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方』(2021)、『梅切らぬバカ』(2021)など“高齢化社会を豊かに生きる”作品が人気を集めており、新作の『35年目のラブレター』、『ゴッドマザー コシノアヤコの生涯』も多くの会場で上映された。『104歳、哲代さんのひとり暮らし』『ばげますから、よろしくお願ひします』2作といったドキュメンタリーも複数会場で上映されている。

阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎えるということで、安達もじり監督の『港に灯がともる』

(2025)、『心の傷を癒すということ 劇場版』(2021)が多くの会場で上映されている。

### 人権、平和

人権や平和といったテーマを重視するのも兵庫県映画センターのプログラムの特徴である。2025年は戦後80年ということで、『劇場版アナウンサーたちの戦争』(2024)、『ラーゲリより愛を込めて』(2022)、『島守の塔』(2022)、『夕風の街桜の国』(2007)といった作品が複数の会場で上映され、子どもたち向けの上映会でも『えっちゃんのせんそう』『ガラスのうさぎ』『この世界の片隅に』『対馬丸～さようなら沖繩』といったアニメーションが上映されている。「人権-命の尊厳・障害・差別-」の作品リストには、呉美保監督の『ぼくが生きてる、ふたつの世界』、三宅唱監督の『夜明けのすべて』が入っており、多くの会場で上映されている。

また、「2026年春 お薦め作品リスト」には、2025年に公開された『TOKYO タクシー』、『てっぺんの向こうにあなたがいる』、『フロントライン』といった話題作とともに『木の上の軍隊』(平一紘監督、堤真一、山田裕貴)、『長崎 閃光の影で』(松本准平監督)が含まれている。

### クラシック・名画鑑賞会

外国映画のクラシック作品も「シネマクラシック」「名画鑑賞会」「懐かしの名画鑑賞会」といった企画で上映されている。兵庫県映画センターのウェブサイトには、先述の「お薦め作品リスト」とは別に「作品紹介」のページがあり、数多くの名画、クラシック作品がリストアップされている。

### ■子ども/ファミリー/若年層向けの上映

子ども向け(若年層、ファミリー向け)の上映会も50回以上開催している。(同一市町村内の複数の学校で団体観賞を行うことも多いので上映会の回数は100回近くに上る)→表11

上映作品を見ると、非常に多様な作品が選ばれていることがわかる。2023年に大ヒットした『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』を、戦後80年の2025年の学校の団体鑑賞作品として上映、三宅唱監督の『夜明けのすべて』も複数の学校で上映されている。空音央監督の『HAPPYEND』も学校団体鑑賞で上映されている。

外国映画でも、ヘレン・ミレンがイギリス軍の諜報機関で働く大佐を演じた『アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場』(2016)や、『マイティ・ソー バトルロイヤル』のタイカ・ワイティティ監督が、第2次世界大戦時のドイツに生きる人びとの姿を10歳の少年ジョジョの目を通して描いた『ジョジョ・ラビット』が団体鑑賞作品として選ばれている。子どもたちは多彩な映画作品を通して戦争や平和について考えることができる。

アニメーション映画も多数上映されている。2024年に大ヒットした『怪盗グルーのミニオン超変身』や『Fly! フライ』、2025年に公開されたばかりの『野生の島のロズ』、『それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー』も、映画館のない市町村の子どもたちに届けられている。

また、戦争を描いた童話を映画化した『えっちゃんのせんそう』(2001)や『ガラスのうさぎ』(2005)、『対馬丸～さようなら沖繩～』(1982)といったアニメーションも上映している。映画館まで行くのが難しい地域の子どもたちにとって、大きなスクリーンで、みんなで映画を見たことは、忘れられない体験となっているにちがいない。

表 11：兵庫県映画センター若年層向け上映作品

no.	作品名	製作国		劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	
1	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	日本	2023	劇映画	学校団体鑑賞
2	35年目のラブレター	日本	2025	劇映画	学校団体鑑賞
3	はたらく細胞	日本	2024	劇映画	野外上映
4	HAPPYEND	日米	2024	劇映画	学校団体鑑賞
5	夜明けのすべて	日本	2024	劇映画	学校団体鑑賞
6	夜明けのすべて	日本	2024	劇映画	学校団体鑑賞
7	夜明けのすべて	日本	2024	劇映画	学校団体鑑賞
8	学校の怪談	日本	1995	劇映画	真夏のオパケ上映会
9	島守の塔	日本	2022	劇映画	学校団体鑑賞
10	アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場	イギリス	2016	劇映画	学校団体鑑賞
11	ジョジョ・ラビット	アメリカ	2020	劇映画	人権教育映画会
12	ワンダー 君は太陽	アメリカ	2018	劇映画	学校団体鑑賞
13	映画さんねんないきもの事典	日本	2022	アニメーション	
14	映画さんねんないきもの事典	日本	2022	アニメーション	野外上映
15	映画さんねんないきもの事典	日本	2022	アニメーション	
16	えっちゃんのせんそう	日本	2001	アニメーション	
17	えっちゃんのせんそう	日本	2001	アニメーション	学校団体鑑賞
18	ガラスのうさぎ	日本	1979	アニメーション	学校団体鑑賞
19	この世界の片隅に	日本		アニメーション	学校団体鑑賞
20	セロ弾きのゴーシュ	日本	1982	アニメーション	
21	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	クリスマス子ども上映会
22	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	
23	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	
24	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	
25	それいけ! アンパンマン ばいぎんまんとえほんのルルン	日本	2024	アニメーション	春休み映画会
26	ちいさな英雄 カニとタマゴと透明人間	日本	2018	アニメーション	夏休み星空上映会
27	チョッチャん物語	日本	1996	アニメーション	こども平和映画会
28	対馬丸~さようなら沖縄~	日本	1982	アニメーション	平和のための戦争展
29	屋根裏のラジャー	日本	2023	アニメーション	学校団体鑑賞
30	屋根裏のラジャー	日本	2023	アニメーション	子ども映画祭
31	屋根裏のラジャー	日本	2023	アニメーション	夏休み子どもシアター
32	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	星空映画会
33	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	
34	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	
35	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	星空映画会
36	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	子ども映画会
37	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	学校団体鑑賞
38	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	
39	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	親子映画会
40	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	
41	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	
42	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	
43	野生の島のロズ	アメリカ	2025	アニメーション	
44	野生の島のロズ	アメリカ	2025	アニメーション	
45	私ときどきレッサーパンダ	アメリカ	2024	アニメーション	学校団体鑑賞
46	インサイド・ヘッド	アメリカ	2015	アニメーション	
47	映画 ひつじのショーン UFOフィーバー!	英仏	2019	アニメーション	学校団体鑑賞
48	おさるのジョージ	アメリカ		アニメーション	
49	トムとジェリー ジャックと豆の木	アメリカ	2013	アニメーション	
50	ベット2	アメリカ	2019	アニメーション	ユニバーサル上映
51	リトル・ニモ	アメリカ・日本	1989	アニメーション	

兵庫県映画センターが1年間に開催する上映会の観客数は、のべ86,000人に上る。この数字は、中小都市のミニシアターの1年間の観客数を大きく上回る。県内の人口5万人以下の20市町村での兵庫県映画センターの上映回数は70回以上に上り、10万人以下の市町村に広げると27市町村、上映回数は120回を超える。さらに、10万人以下の10以上の市町村で学校団体鑑賞や子ども向けの上映会を実施している。兵庫県映画センターの活動は、兵庫県の映画文化にとって非常に重要な役割を果たしている。

このような活動を評価するには、元町映画館のような、拠点となる場所をもって様々なプログラムを組み立てる「映画館」とはまた別の視点、評価軸が必要となるだろう。

兵庫県映画センターのように、移動映写を行う事業者は全国各地に数多く存在している。活動の規模は大小様々であるが、その数は100社以上に上るものと考えられる。その中には、兵庫県映画センターのように、年間300回もの上映会を実施する大規模な事業者も存在している。

かつて、映画の「学校団体鑑賞」は全国各地の多くの小中学校、高校でも行われていた。それが最も盛んに行われていた時代がいつであるかは明確ではないが、その時代に比べれば、移動映写の事業者数が減っていることはまちがいないだろう。兵庫県映画センターのレポートで最も驚かされたのは、現在も多くの市町村で「学校団体鑑賞」が行われていること、特に映画館のない市町村の多くの小中学校で上映会が行われている点である。

このような移動上映事業者の活動の詳細な実態はほとんど把握されていない。映画文化の振興、支援策を考える上では、他の都道府県の類似の上映団体の活動の実態も把握する必要がある。

